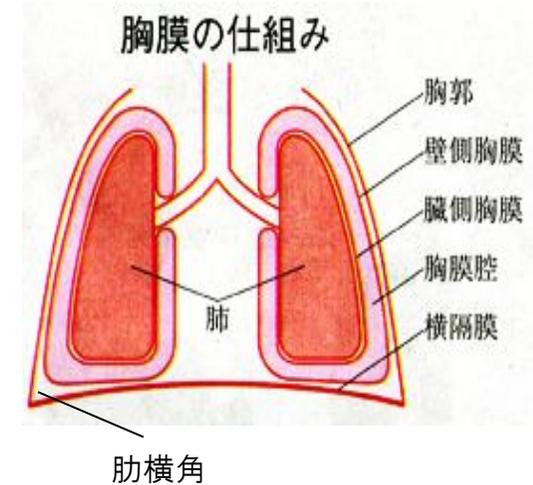


「石綿による疾病の認定基準に関する検討会」報告書（びまん性胸膜肥厚関係）のポイント

1 びまん性胸膜肥厚の診断方法を明示

びまん性胸膜肥厚の診断方法等

- びまん性胸膜肥厚とは、石綿ばく露を原因として臓側胸膜と壁側胸膜がゆ着して広範囲に肥厚する状態を指す。
- 胸部エックス線写真と胸部CT画像による肋横角の消失と肥厚の状態でびまん性胸膜肥厚を診断する。
- 病状が進行し、著しい呼吸機能障害が生じるようになれば、酸素療法を必要とする状態となり、治療の対象となる。



2 認定基準の見直し

現在の基準 (以下の①～④をすべて満たす)		検討会の検討結果
① 石綿作業従事期間3年以上	→	① 現行どおり
② 著しい呼吸機能障害がある	→	② 現行どおり
③ 肥厚の厚さ5mm以上	- - - →	③ 不要（肥厚の厚さは問わない）
④ 肥厚の広がり ・片側のみある場合：側胸壁の1/2以上 ・両側にある場合：側胸壁の1/4以上	→	④ 現行どおり